



クリスマス ローズの株分けと植えつけ

Q. クリスマス ローズの株分け、植えつけの適期は10月と聞きました。
その要点を教えてください。

A. 大株を3芽つけて分け、ややアルカリ性の水はけのよい土に植えます。

《ポイント》

無茎種（ハ、ニゲル、ヘ、オリエンタリスなど）の株分けは、花が咲き始めてから4年以上経った株について秋に行ないます。

I 鉢植え

1. 株分け

次の順序で行ないます。

- ① 株を鉢から抜く。
- ② 根の先のほうを1/5ほど切り落とす。
- ③ ドライバーで土をほぐしながら、根を水洗いし、傷んだ根を切り取る。
- ④ ドライバーを株もとに入れて、3芽ずつ、2、3株に分ける。
- ⑤ 切断面に殺菌剤を塗る。
- ⑥ 植えつける。

ドライバーなどの用具はバーナーであぶり、殺菌して使ってください。

2. 鉢と用土

鉢は2まわりほど大きな深めのものにします。
培養土は 赤玉土（小粒）4、日向土（小粒）3、腐葉土3の混合が基本です。

3. 植えつけ後の管理

植え終わったら十分に水をやり、日陰で10日ほど養生してから、1日に最低3時間は日が当たる場所に出します。

II 庭植え

鉢植えに順じて株を分け、水はけのよい場所に株間30cmに植えます。径、深さとも30cmくらいの穴を掘り、腐葉土を2L、苦土石灰100gを入れて土と混ぜ合わせて植え付けます。植えつける深さは芽が少し隠れるくらいにします。3~5株をまとめて植えると引き立ちます。



マイナスドライバーを芽と芽の間にさして、根茎を切る

絡んだ根をほぐして株を分ける





サヤエンドウのタネまき

Q. サヤエンドウはいつまけばよいのですか？プランターでもできますか？

A. 10月上旬から11月上旬が適期です。ふつうのプランターで育てられます。

《ポイント》

エンドウ類は連作を嫌うので、必ず、新しい土を使います。サヤエンドウは耐寒性が最も強い本葉2、3枚で冬を越させます。

1. タネまき

株間を13cmくらいとり、1ヶ所4粒まき(図-1)、本葉2枚程度で2本に間引きます(ハサミで切る)。

2. 肥料やり・水やり

肥料は本葉2枚のときに元肥、3月上旬から20日ごとに3回、追肥を施します。生育後半に、育ちが悪くなってきたら、500倍の液肥を5日に1回与えます。

3. 支柱立て

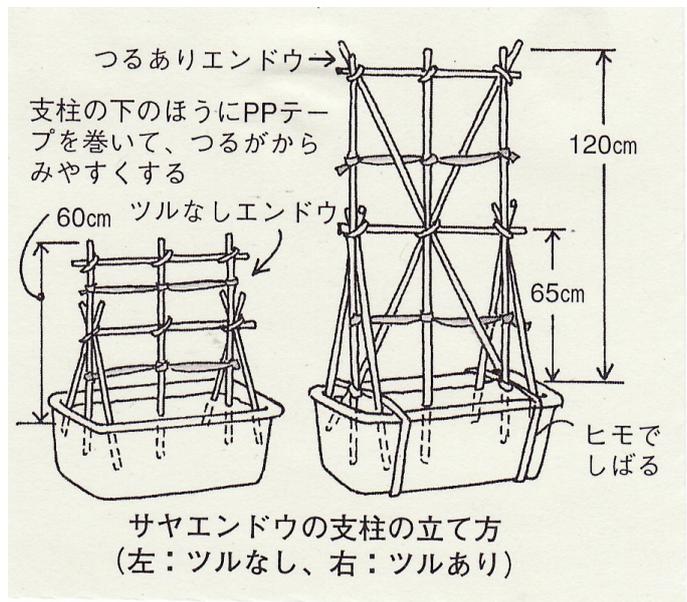
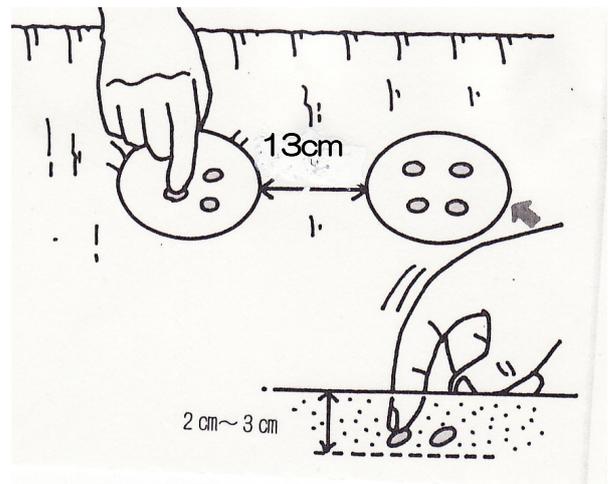
つるが大人の背丈ほど伸びるので、長い支柱をしっかり立ててやります(図-2)。つるがよそに伸びないように、ときどき支柱に誘引します。

4. 病害虫

ウドンコ病・・・サプロール乳剤。ナモグリバエ・・・アディオオン乳剤。
アブラムシ・・・マラソン乳剤など。

5. 収穫

キヌサヤエンドウは開花後、20~25日で収穫します。
スナップエンドウはマメがふくらんだら採ります。早め早めに収穫すると株が疲れず、たくさん採れます。



サヤエンドウの支柱の立て方
(左：ツルなし、右：ツルあり)